



読書週間が始まりました

読書週間が、10月27日（日）から始まりました。11月9日（土）までが読書週間ですが、今年の標語は「この一行に逢いにきた」となっていますので、本の中のすてきな一行に出合えるとよいと思います。ちなみに、読書週間の初日の10月27日は「文字・活字文化の日」にもなっていますので、文字や活字に積極的に触れる1週間であってほしいと思います。

HPで、折に触れお伝えしていますが、潮見小学校は様々な読書推進活動を行っています。授業の中で、図書館（潮見小学校では「あすなる図書館」と呼んでいます）を利用することはもちろんですが、原則、月曜日と金曜日の朝の時間（10分間）に、読書を行っています。落ち着いた雰囲気での学習に臨むことができます。また、しおみ音読隊による読み聞かせも定期的に行っています。先日は怖い話のイベントもありました。子どもたちが、図書館の本を選ぶ選書会も年に一度ではありますが、実施しています。



図書館運営支援員が、1名配置されていますので、図書館の環境整備、図書を紹介、授業の支援などにもあたっています。

図書委員会も、アイデアを生かした活動をしています。今年は、創立150周年ですので、それにちなんで150冊本を借りようというキャンペーンを実施しています。また、「本リンピック」で学級対抗、色別対抗で、本の貸し出し冊数を競うこともしています。さらに、今月には、「ミステリーブックバッグ」として、本を紙で包んで紹介文とバーコードが見えるようにして、興味をそそるような本の貸し出し方にも取り組んでいます。



外国語の一環ではありましたが、英語の本の読み聞かせを実施したこともありました。

このように、学校では、少しでも子どもたちが本を手にする機会を増やすことができますようにしています。最近では、漫画も読まない子が増えているそうです。子どもたちには、漫画でも電子書籍でもよいので、まずは興味の本を読んでみる、ということをしてほしいと思います。また、保護者の皆様も、家族で本を読む時間をつくって、読んだ本の感想などを話し合ってみてはいかがでしょうか。せっかくの読書週間ですから、本との出会いを大切にしてほしいと思います（私は、先月、物語づくりでお世話になった田丸雅智さんの本を、読んでいます。）。

【読書の効果・メリット】

- 語彙・情報・知識などが增える。
- 読解力・文章力が向上する。
- 想像力が広がる。
- 様々な価値観に触れることができる。
- 疑似体験ができる。 など